



『ゆったりと杭瀬川舟下り』大垣・赤坂小児童

杭瀬川の生態などを学びながら舟下りを楽しむ児童ら ― 大垣市福田町

- 大垣市立赤坂小学校の児童が10月1日（水）、地元を流れる杭瀬川を舟で下り、舟からの景色を楽しみました。

赤坂小学校では、例年、杭瀬川の舟下りイベントを企画し、体験学習に取り組んでいます。この体験は、地域の自然や歴史について学ぶ授業の一環で、今回で16回目の恒例行事となります。西濃水産漁業協同組合（吉田章組合長）の協力を得て実施したもので、4年生児童約70名が参加し、8、9人ずつ舟に乗り込み、片道約1.5キロを約30分かけて往復するコースを体験しました。船頭を務める同組合員から川に生息する魚や、橋の耐震設備などの説明を受けたり、川岸のヨシの葉で舟を作って流したりするなど、秋空の下で、いつもと違う目線で眺める川での舟下りを、のんびりと楽しみました。



舟下りをする児童と見送りに駆け付けてくれた父母さんたち



ヨシ舟浮かべ、児童歓声！

昔ながらの遊びを体験しようと、ヨシ舟作りに挑戦しました。川岸に生えるヨシの葉を取り、船頭さんからヨシ舟作りについて教えていただき、船上で制作しました。児童たちは、自作のヨシ舟を杭瀬川に浮かべ、舟に願いを込め流しました。

今泉萌さん（10）は「初めて舟に乗り、風が気持ちよかった。川底に缶などが落ちていたので、ゴミのポイ捨ては良くないと感じた」と話してくれました。



ヨシ舟作りに挑戦する児童たち

『芭蕉気分で一句！』 赤坂小児童

舟から降りた児童らは、乗船の思い出を俳句に読み、芭蕉気分を味わいました。その中から、優秀作品2点を紹介します。

「ひがんばな 水のかがみで おめかしだ」

「よしぶねは 思いをのせて ゆらゆらと」



水門川沿いに建つ芭蕉翁像 二大垣市船町

※写真は太垣市及び赤坂小学校からご提供いただきました